

活動報告

平成22年度 JA 新潟県厚生連 リハビリテーション技術者協議会学術活動

長岡中央総合病院、リハビリテーション科；言語聴覚士

目黒 文

JA 新潟県厚生連リハビリテーション技術者協議会には、17施設196名（2010年度11月現在）が在籍しています。在籍している職種は、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、マッサージ師の4職種です。リハビリテーションに従事する技術者として、それぞれの専門性を生かしながら知識と技術の向上に努めています。

平成22年度に平成22年度 JA 新潟県厚生連リハビリテーション技術者協議会が企画運営した学術活動を報告します。「新潟県厚生連言語聴覚士研修会」「新潟県厚生連理学療法士研修会」「新潟県厚生連リハビリテーション技術者研修会」の3研修会でした。

また、全国的な研修会・学会についても例年通り参加し、学会発表も積極的に行っています。多様化するリハビリテーションのニーズに応えるためにも、新しい知識や技術の習得、研鑽を目的として、今後とも積極的に学会等に参加し、学術活動を充実させていきたいと思っています。

以下に平成22年度の各研修会の活動内容を示します。

第1回新潟県厚生連言語聴覚士研修会

日時 平成22年7月10日（土）

会場 新潟医療センター

講演 「嚥下困難患者に対する栄養料の取り組み」

講師 新潟医療センター管理栄養士 古泉 良子 先生

新潟県厚生連理学療法士研修会

日時 平成22年8月22日（日）

会場 長岡中央総合病院

講演 「SJF 関節ファシリテーションについて」

講師 晴稜リハビリテーション学院 蕨沢 力 先生

新潟県厚生連リハビリテーション技術者研修会

日時 平成22年11月14日（日）

会場 長岡中央総合病院

講演 「褥創ケアにおけるリハビリテーションの役割」

講師 長岡中央総合病院認定看護師 岩城 杉子 先生

会員発表

- ①「回復期リハビリテーション病棟の現状報告 第二報」
刈羽郡総合病院 理学療法士 原川 千秋
- ②「大腿切断の義足歩行獲得に向けて～障害受容に難渋した症例～」
村上総合病院 理学療法士 佐野 一哉
- ③「脊髄腫瘍により体幹・下肢の不全麻痺を呈した一症例」
村上総合病院 理学療法士 遠藤まり子
- ④「前頭葉の梗塞により把握反応、道具の強迫的使用を呈した一症例」
長岡中央総合病院 作業療法士 小原 雄太
- ⑤「右肩関節痛により下衣操作が困難であった一症例」
新潟医療センター 理学療法士 杉戸 裕一
- ⑥「がん患者と理学療法の関わり～ターミナル期の理学療法経験を通じて～」
刈羽郡総合病院 理学療法士 村山 智幸

平成22年度学会派遣状況

第45回日本理学療法士学術大会（岐阜県岐阜市） 4名

梨本 智史（新潟医療センター） 伊倉 沙織（村上総合病院）

江村 美貴（刈羽郡総合病院） 澤田 薫（長岡中央総合病院）

- 第29回関東甲信越ブロック理学療法士学会（茨城県つくば市） 5名
渡邊 博史（新潟医療センター） 松岡 潤（新潟医療センター）
田村 友典（長岡中央総合病院） 戸川 直樹（刈羽郡総合病院）
中川 結美（上越総合病院）
- 第45回日本理学療法士協会全国学術研修大会（愛媛県松山市） 2名
江口 竜人（上越総合病院） 高橋 利一（刈羽郡総合病院）
- 第44回日本作業療法士学術大会（宮城県仙台市） 5名
酒井 妙子（村上総合病院） 相澤 友之（新潟医療センター）
高橋 正人（瀬波病院） 小熊 ゆみ（上越総合病院）
唐沢 祥恵（長岡中央総合病院）
- 第11回日本言語聴覚学会（埼玉県さいたま市） 2名
馬場恵里子（瀬波病院） 北川 郁代（佐渡総合病院）

2010/12/02 受付（2011-21）